

子宮頸がんワクチン接種に 市の取り組みを求める

堀 雄一郎 議員

質問 ヒトパピローマウイルスが原因で発症する子宮頸がんは、ほとんどの女性が一生に一度は感染すると言われ、20～30代でがんになりやすいが、予防ワクチン接種でほぼ100%防ぐことができるがんのため、多くの国々で接種され、日本でも公費助成を表明する自治体が増えている。市の取り組みを伺う。

市長 子宮頸がんワクチンは、現在個人の任意接種のため、3回接種で4～6万円かかり、負担が大きい。

接種効果が高く、必要性も十分認識しているため、財政面の問題もあるが、今後検討していきたい。



福生南公園の早期全面開園を

乙津 豊彦 議員

質問 早期全面開園が待たれる福生南公園だが、実施設計の進捗状況はどうか。また、河川敷なので工事ができる期間に制約も出てくるが、河原を使って楽しめる開園時期を考えると、来年の夏休み前には全面開園をしていただきたいが、早期完成のための方策は考えているのか。

市長 5月に実施設計の防衛補助金交付が決定され、6月中旬発注、10月下旬に実施設計を完了、この間議会を初め地元等への説明会を考え

ている。工事費追加の内定もあるので、12月議会で補正をお願いし、今年度内に着工し、早期完成を目指したい。



▲福生南公園

どうとらえているか 全国学力テストの意義を

末次 和夫 議員

質問 平成19年度から40数年ぶりに復活した小学校6年、中学校3年の全員参加方式全国学力テストは、本年度から抽出方式に変わり、当市は10校中2校が抽出され、8校は抽出に漏れたと聞くが、学力テストの意義をどうとらえ、また全員参加と抽出方式についての見解を伺いたい。

教育長 全国的な状況との関係の中で教育施策等の成果と課題を把握、改善を図り、各学校が児童・生徒の学力や学習状況の指導等の改善に役

立てる目的だが、実施教科が2教科だけなど検討の余地はあるが、学力をはかる貴重な指標と考えている。



教育委員会の社会教育課を生涯学習推進課に 名称変更した理由と目的は

増田 俊一 議員

質問 今回の組織改正は広報での組織変更の一覧表のみのお知らせだったが、名称変更した理由や変更する必然性及び目的、また、どの分野を対象としているのか伺いたい。

教育長 教育基本法、社会教育法等の改正により、「市の任務として生涯学習の振興に寄与するよう努めるものとする」と新たに規定された。このことから広く市民にわかりやすいという意味で生涯学習推進課としたもので、第4期総合計画の中での

生涯学習の部門を明確にするために教育委員会がその任を負うこととなり、組織を見直したものである。



▲市民文化祭

一般質問

(要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。一問一答方式の試行中であり、一括方式、一問一答方式、混合方式（一括と一問一答の併用）の3種類のうちいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、8月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市のホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認してあります。

町会・自治会の 加入率増に向けた施策は

清水 義朋 議員

質問 本年度、「ともに助け合うまちづくり」として「活動拠点の施設整備」が充実されたのは、それぞれの町会・自治会活動にプラスになり、また加入率増への具体的施策となるが、ほかに具体的に実施している施策等があれば伺いたい。

市長 地域における交流を活発にして、コミュニティの充実を図るために地域活性化交付金を交付している。また、加入率減少に危機感をもつ町会長協議会は、不動産業界と協定を

結び、勧誘パンフレットの配布の依頼やホームページを開設し努力しているため、支援していきたい。



▲夏祭り神輿の競り合い

航空総隊司令部移駐に伴う 工事の進捗状況は

原島 貞夫 議員

質問 航空総隊司令部庁舎棟建設の本年9月の完了と司令部移駐が遅れると聞いているが、工事は順調に進んでいるのか。また、専用の通用門が第5ゲートに設置されると聞くが、その後、どのような状況か伺いたい。

市長 司令部庁舎棟の建設は順調であり、航空総隊司令部移駐も、当初計画どおり今年度から開始する予定と聞いており、引き続き建設工事等の万全を期していくということと

理解している。第5ゲートの警衛所建て替え工事は、着工に向け準備中と聞いている。



▲横田基地内の施設

「協働によるまちづくり」 市の考え方はどうか

武藤 政義 議員

質問 かつて七夕まつりのイベント部会で活動し、地域の大切さ、人と協力し合うことなど多くのことを学んだが、市は「協働によるまちづくり」の必要性とその効果をどのように考えているのか。また「協働」の具体的な取り組みについて伺いたい。

市長 第4期総合計画の「このまちが好き 夢かなうまち 福生」の実現に向け、また、地方分権の推進により、自立したまちづくりは市民と行政が連携、協力して取り組むこと

で活力あるまちづくりが実現できると考え、福祉や環境等々、平成22年度は86の協働事業を計画している。



▲公園ボランティア